

可茂農林事務所の普及活動状況（令和7年5月16日現在）

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■青年農業士・4Hクラブ 通常総会・意見交換会を開催

可茂地区青年農業士会と可茂地区4Hクラブ連絡協議会は4月11日、可児市内において、通常総会と意見交流会を開催した。

当日は、青年農業士5名と4Hクラブ員4名の計9名が出席し、令和6年度の事業報告および令和7年度の事業計画と予算について各団体に審議された。

今年度は、新たに青年農業士2名、4Hクラブ員2名が誕生したところであり、会場では農業に対する熱い議論が交わされ、農業を担う経営者の顔を覗かせた。

今年度の主な活動は、会員の知識、技術、経営力の向上を図るとともに、新規加入者の勧誘を目的とした意見交流会、加えて農業大学校や国際園芸アカデミーとの意見交換を企画予定としており、農林事務所は引き続き、生産者や関係機関と連携した支援を行っていく。



【意見交流会の様子】

(地域支援第二係)

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■クリ・八百津町栗生産者 クリの接ぎ木講習会を支援

八百津町では、八百津町役場農林課が主体となって地元の和菓子店への町内産栗の出荷拡大に取り組んでおり、農業普及課では町と連携し、栽培技術の向上や新規生産者の確保等を支援している。

4月8日には町農林課の担当者と令和7年度の栽培講習会等の活動計画を確認し、4月14日には今年度最初の栽培講習会としてクリの接ぎ木講習会を開催した。

講習会は、町内の生産者の栗園を会場に、5人が参加した。

はじめに、農業普及課から資料に基づきクリの接ぎ木方法について概要を説明し、協力を依頼した中山間農業研究所中津川支所の研究員が園内で育成した苗木に接ぎ木の実演を行った。

接ぎ木技術の習得で、優良品種への更新が進み、生産安定、品質向上につながる事が期待される。

(園芸産地支援係)



【クリ接ぎ木講習会の様子】

■蜂屋柿・美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会 摘蕾講習会を支援

美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会は4月28日に、同市蜂屋町で摘蕾講習会を開催し、会員及び関係者約40名が参加した。当日は、岐阜県農業経営課革新支援専門員の協力を得て、摘蕾作業の実演を行うとともに、農業普及課から、今年の着蕾状況、摘蕾の重要性や残す蕾の見分け方を指導した。また、カメムシ類越冬状況について情報提供し、適期防除を呼び掛けた。

今後も、加工所の整備や無人防除機の活用に関する協議に参加するとともに、堂上蜂屋柿の生産、販売拡大を目的とした活動の支援を継続する。



【摘蕾講習会の様子】

(地域支援第一係)